

心地いい住まいづくり、Vectorworksの役割

東山明建築設計事務所 東山 明氏



神戸に設計事務所を構え、注文住宅からリノベーションまでを手がける。現代の生活スタイルを大切にしつつ、尖りすぎない雰囲気印象的な住宅は木の質感を大切に、優しい光りに包まれている。

建築を志すきっかけとなった東北、そこでの講演

学生時代に、原動機付き自転車で神戸から青森まで旅をした際に、東北で多くの人から助けられ、また有名な建築を目の当たりにすることができました。私が建築を志すきっかけとなった思い出のある地で講演できることが、大変嬉しいです。

CAD歴

私が独立した際にMiniCad6を導入して以来、一貫してVectorworksを使い続けています。建物を建てるだけなら2D-CADで事足りますが、基本計画から、実施、現場監理まで、いろんな場面で思考しながら表現・検討したい場合、2D/3D-CADのVectorworksが威力を発揮します。軸組模型は、Vectorworksで作成した軸組図を基に製作しますが、かなり精巧にでき上がります。このモデルを用いて、ハロゲンライトを夏至や冬至の位置に設置して、日差しシミュレーション等を行なっていましたが、同じことがVectorworks2012ではできるようになりました。はっきり言って、知られたい機能です(笑)。

私が思うVectorworksとは

・初心者には優しく、ハードユーザには楽しく。
マニュアルを読まなくても、線と面が描けてしまう程簡単ですが、慣れると人それぞれの使い方、個性のある図面が描けます。

・2Dから3Dへ。

Vectorworksの面で作図する方法は、高さを与えれば3Dになるので、3Dでの思考方法へスムーズに移行できました。

・あんなこともこんなことも。

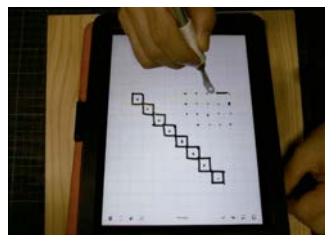
機能が豊富なので、展示会のポスターやハガキ、造作家具説明の為の動画作成、軸組模型製作など、あらゆることに活用しています。

最近では...

ipadでラフスケッチを描いて、施主へ提案することもあります。無いものは作ろうの精神で、かき心地重視のスタイラスペンも自作。しなり具合が絶妙で、建築の細かなニュアンスを描くことができます。



自作スタイラスペン



スタイラスペンとipad



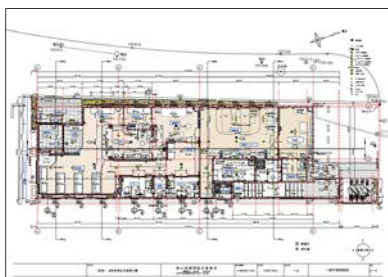
近作：庭を愛でる家



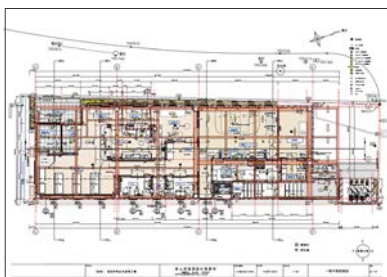
近作：舞台のある家

Vectorworks自己流活用法

ここでは、特別な機能紹介というより、日常業務での使い方を自己流ではありますが、ご紹介させていただきます。



※1 平面図



※2 天井伏図

•平面図

私はVectorworksを使い始めた時から、カラーで図面を作成しています。パーツはレイヤで上下設定し、クラスの表示非表示を使って、同位置にどんどん描きこんでいきます。平面詳細図はこの方法で図面を作成します。※1、※2



※3 3Dシミュレーション



※4 着色立面図

•パース、着色立面

施主にイメージを伝える為に、パースや外装の雰囲気を加えた立面図を外注無しで作成しております。Vectorworks2012からは、BIMに近い3Dでのシミュレーションもできるようになりました。※3、※4



※5 ポスター



※6 家具動画

•ポスター

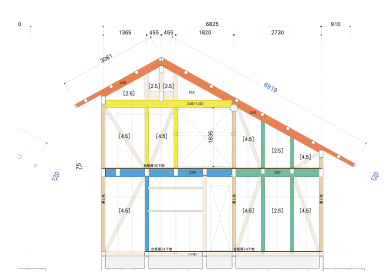
展示会などに使用する写真入りのポスターや、イメージポスターの製作もVectorworksで行ないます。※5

•家具動画

Webに掲載する家具の動画も、Vectorworksで簡単に作成できます。※6



※7 軸組模型



※8 軸組模型用図面

•軸組模型

軸組模型を製作する際は、Vectorworksで切り出す材料を色分けしておく、模型制作時にとても効率的になります。※7、※8

〈取材：竹口太郎〉

【講演者情報】

東山明建築設計事務所 東山 明 氏

ベクターワークスジャパン株式会社
<https://www.vectorworks.co.jp/>

【製品についての問い合わせ】 market@vectorworks.co.jp